

9月の主な行事



- | | |
|-----------------|----------------|
| 1日 : 防災の日 | 13日 : 世界法の日 |
| 2日 : 宝くじの日 | 20日 : 空の日 |
| 3日 : 中秋の名月 | 21日 : 敬老の日 |
| 7日 : 白露 | 23日 : 秋分の日 |
| 9日 : 重陽の節句、救急の日 | 29日 : クリーニングの日 |



今月のかわら版 : 1 「9月1日は防災の日」

9月1日は「防災の日」。この日には、大正12年（1923年）9月1日に発生した「関東大震災の教訓を忘れない」という意味があることはご存知ですね。この防災の日にはもうひとつ災いに関する由来があります。

◆二百十日は厄日

「二百十日（にひゃくとおか）」とは、雑節（ざっせつ＝暦で二十四節気以外の季節の移り変わりの目安となる日の総称）のひとつ。立春から数えて二百十日目の日、太陽暦では9月1日頃がこの日にあたります。稲の穂が始まるこの時期は、強風で稲の花が吹き飛ばされてしまい大事に育てた稲が実らなくなってしまうため、凶作に見舞われる厄日とされていました。

折しもこの時期は台風シーズン。昭和34年（1959年）9月26日の「伊勢湾台風」によって、甚大な被害を被ったことが契機となり、地震や風水害に対する心構え等を育成しようと、昭和35年（1960年）に「防災の日」が制定されました。

かつては関東大震災犠牲者の慰霊祭が中心でしたが、「防災の日」となっただけからは、台風、津波、地震などの認識を深めて、被害を最小限に止めるにはどうしたらよいかということを一一人が考え、そのための活動をする日となったわけです。

◆台風の名前

毎年のようにわが国を襲来し、きわめて大きな災害をもたらす台風ですが、実はひとつひとつ名前がつけられています。従来、米国がキティ（KITTY）台風、ジェーン（JANE）台風というように英語名（人名）を付けていましたが、平成12年以降は北西太平洋または南シナ海の領域で発生する台風については、動植物や自然現象に関係する固有の名前をつけることが、台風委員会（北西太平洋または南シナ海で発生する台風防災に関する各国の政府間組織。日本ほか14ヶ国等が加盟）で決定しました。

台風の名前は、発生するたびに考えて付けているわけではなく、すでに140個の名前が考えられていて、順番に付けられていきます。

平成12年の台風第一号の名前がカンボジアで「ダムレイ（象）」以降、発生順に中国の「ハイクイ（インゲンチャク）」、北朝鮮「キロギー（雁）」となり、140番目ベトナムの「サオーラ（ベトナムレイヨウ…20世紀に発見された大型哺乳動物）まで用いて、その後再び「ダムレイ」に戻ります。日本は、「てんびん座」「やぎ座」等、星座の名前をつけています。

天災は忘れた頃にやってきます。備えあれば憂いなしというようにこの機会にぜひ今一度、家の内外の点検を行ってください。



今月のかわら版 : 2 「日本の世界遺産」



2007年7月2日、島根県大田市の石見銀山遺跡が世界遺産に登録されました。石見銀山遺跡は、世界の産出銀の3分の1を占めた日本銀のほとんどを産出した世界有数の銀鉱山遺跡であること、山を崩したり森林を伐採したりせず、狭い坑道を掘り進んで採掘するという、環境に配慮し、人と自然が共生しながら銀生産を実現させたことなどが評価され、登録されました。

日本の世界遺産登録としては14件目であり、鉱山遺跡としてはアジアでは初めての登録です。

◆世界遺産とは

世界遺産とは、地球上から失われてはならない貴重な自然や歴史に名を残した遺跡、建造物など人類共通の財産を後世に継承していくことを目的に1972年にユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の総会で採択された「世界遺産条約」に基づいて「世界遺産リスト」に登録されている物件のことです。

世界遺産には次の3種類があります。

文化遺産…顕著な普遍的価値を有する記念物、建造物群、遺跡、文化的景観など（石見銀山、原爆ドーム、ピラミッド、タージマハール、万里の長城等）

自然遺産…顕著な普遍的価値を有する地形や地質、生態系、景観、絶滅のおそれのある動植物の生息・生息地などを含む地域（知床、ガラパゴス諸島、グレートバリアリーフ等）

複合遺産…文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えている遺産（マチュ・ピチュ、タスマニア原生地域など）

日本には世界遺産登録されているものが文化遺産で11件、自然遺産で3件あります。この狭い土地の中にこれだけの数が登録されていることはすばらしいことといえるでしょう。

今年の秋は、日本の世界遺産の旅に出かけてみてはいかがでしょうか。